

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 〒464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 竹内真三

No. 39 (1983~1984)

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を
Share Rotary —— Serve People

1983~84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

第 83 回例会 昭和 59 年 4 月 10 日 (火) 晴

◇ “我等の生業”

◇ 出席報告

会員 52 名 出席 40 名
出席率 76.92 %
前 回 4 月 3 日 (修正出席率) 98.08 %
make up

安藤君 (4/4 和合), 浜口君 (4/4 和合), 橋本君 (4/9 中), 林君 (4/4 名北), 堀江君 (4/5 西), 加藤(大)君 (4/7 守山), 松居君 (4/4 和合), 水野(民)君 (4/7 守山), 新美君 (4/4 和合), 笹野君 (4/6 港), 手島君 (3/31 守山)

◇ ビジター紹介 9 名

◇ 誕生日祝福

永井夫人 (4/16)

◇ ニコボックス

大口君 (昨日、次女の誕生日でした、又愛知公害防止委員に委嘱されました)、竹内君 (川奈ゴルフで夫婦で入賞して申しわけありませんでした)、菊池君 (春の交通安全運動、盛大に無事終わりました、皆様の御協力に感謝して)、深見君 (今月のゴルフ会で優勝しました)、菅原君 (ナタシオン・ラ・マスタのオープン記念にあたり)、橋本君 (先月のゴルフ会で優勝しました)、加藤(大)君 (ホームクラブ欠席しました)、水野(民)君 (ゴルフ会で無理やり 7 位をいただいて、又、TV や新聞の取材費として)、鵜飼君 (東山春まつりの氷彫刻大会が無事に終わりました)、小坂井君 (交通安全パレードを欠席しましたので)、永井君 (夫人誕生祝)、橋本君 (結婚記念祝)、宮尾君 (結婚記念祝)

◇ 三輪幹事報告

1. 本日例会終了後、次年度理事役員会を行いますので、次年度理事役員の方は 2 F 橋の間にお集り下さい。

◇ 菊池社会奉仕委員長報告

去る 4 月 7 日に行なわれた春の交通安全運

動も天候に恵まれ、80 % 以上の出席をおかげさまで頂き盛大に終了いたしました。千種警察署長より御礼の言葉を承りましたこと御報告申しあげるとともに、皆さまの御協力に感謝いたします。



パレード中の各会員

◇ バナー披露

能都 RC (永井君)

◇ 竹内会長挨拶

先週の例会では委員会報告が各委員長よりなされました。

「出席」につきましては、100%こそ中々達成出来ませんがそれに近い数字が終始出来ております。但しこの出席率にはメイクアップが当然含まれます。メイクアップとは文字通りお化粧という事です。本来は矢張り『素顔』が大切。なるべくホームクラブへ素顔をお見せ下さい。メイクアップされた時は他クラブでの例会の在り様を当クラブ例会にて努めて御報告下さい。

「親睦」については今期行なわれた行事の報告がございました。お骨折は大変であつたらうと感謝しております、が更に勝手に注文をつけさせて頂くならば通常の例会におきま

して、例えばビジターへの御配慮を更に賜ればと思うのです。新入会員のみなならず古参の親睦委員もなるべく受付に頑張ってもらって各クラブからの来訪者の方々に一言の挨拶とか些やかな気配りを賜ったらビジターの方々に単に出席率のためのメークアップでなく千種RCとのメークフレンドとしての親近感を持たれるかと思えます。“俺は社長だ、先生だ、そんな芸者や幫間の様な事が出来るか、”というのはRCでは通用いたしません。敢てそれをする処が所謂「奉仕の精神の涵養」の第一歩であります。

「会員増強」については鈴木君から簡要なる報告があり可成の成果が挙っておりますが4. 5. 6とあと3ヶ月間に3名を目標にメンバーを増強したく会員諸君に今一度居住区、或は職域の周辺を見廻して頂きたいと御願います次第です。

なお、例会のあり方についてですが、一時間の中に食事の時間、各種報告の時間、会長の時間、プログラムの時間等々盛合せを致しますのでどうしても形式的に流れます。従って各種のスケジュールの間に味つけといえますか、野次やら質問やらがあってもよい、その方が反って、会の運営が相互的になって参加の意義も増すのではないかと考えます。1分間スピーチも副会長から指名する形をとる事で持続したいと思えます。

又、水野前会長から御指摘がありました、ニコボックス閉鎖でユーモラスな発表が期待されます。ニコの委員は会員の動静を注意して頂いて、強制でなく、笑って肩叩きながら又肩叩たかれた方は頭をかきながらニコへ献金するという風景があっても大いに結構ではないかと存じます。

以上要するに例会運営の制約といえば「会場」と「日・時」の固定化位のもので、作業服のままで参加して頂いても結構ですし、会員間の親睦に最も適切と考えられる方法をとればよいのです。

会員に窮屈な思いがなく、ゲストの方々に心暖まる気持ちでお帰り頂けるクラブ運営を念ずるものです。

◆講演

“日本ボーイスカウトの現況”

会員 木全 昭二 君



1. ボーイスカウト 運動のねらい

小学校3年から大学卒業の年令にわたる青少年男子を対象にした一連の青少年教育活動である。その目的は、信頼に値する“男らし

い男”をつくることをねらっている。

ボーイスカウト教育のねらいは、次の4つにしぼられ、学年や年令に応じて、プログラムが展開されている。

第1に“人格をたかめる”ことで全スカウトは、誓いをたて、掟を実践し、一生を通じて、自らを律するものとなる。

第2に“健康づくり”で、スカウト教育での五感の訓練は他にあまり例をみないであろう。第3に“知識・技能づくり”であり、「誓」での「いつも他の人々を助けます」という自己宣言、「掟」での「スカウトは人の力になる」という行動律があり、「ぼくにはできる」と、青少年に自信をつけさせる。

第4に“奉仕を通じての実践”で、「人のお世話にならぬように、そして、報いを求めぬよう」これは初代総長後藤新平氏の言葉である。ボーイスカウトは、「日日の善行」というスローガンをかかげており、自分たちが受けている恩恵を、自分たちのできる善行でお返ししようというものである。

2. 日本ボーイスカウトの状況

1907年、バーデン・パウエル郷が、ロンドン郊外で21人の少年を対象に創めたこの運動は、現在その体験者数において1億を超しており、世界のスカウト人口は現在1,400万人であります。日本連盟の58年登録者数は330,617人ですが、主な外国特にアメリカの650万に比較すると問題にならない数です。

1971年に第13回世界ジャンボリーが富士山麓の朝霧高原で開催され、全世界から5万人のスカウトが集いました。当時日本のスカウト人口は約19万人でしたが、この祭典を契機に躍進をとげました。

スカウト運動展開の最大の悩みは、リーダーの確保と野外活動の場所です。

この運動は、青少年がその自発活動によって展開されるが、一般社会の理解と協力があってこそ、その目的が達成でき、悩みを解消することができると思います。

◆認証状伝達式のご案内

5月19日(土)	第250地区 礼文RC	} 合同
5月20日(日)	第250地区 利尻RC	
5月20日(日)	第250地区 利尻島RC	
5月27日(日)	第262地区 袋井RC	
6月24日(日)	名古屋熱田ローターアクトクラブ	

参加希望者は事務局まで御連絡下さい。

◆次回例会(4月17日)

講演 “秒進分歩のOA電子情報機器とその対応について”

会員 小坂井 盛雄 君

◆次々回例会(4月24日)

講演 “法曹閑話”
弁護士・元最高裁判事 本山 亨氏
(紹介 西川君)